

一般質問

8月30日、31日、9月3日から5日の5日間にわたり、33名の議員が市政を取り巻く諸問題について、意見・提案を交えながら、市長などの考えをいただきました。質問、答弁の要旨は次のとおりです。
※議長と副議長は、町田市議会では一般質問を行わないことになっています。

各議員のタイトル下にあるQRコードから一般質問の録画映像にアクセスできます。
※動画の再生には別途通信料がかかります。



部活・小山田駅最終処分場開放



藤田 学(自由民主党)

中学校運動部活動と地域スポーツクラブの組織的な連携を求める。
文化スポーツ振興部長 町田市スポーツ推進審議会で各委員に状況を伺い、連携における課題を抽出し、現在策定中の(仮称)町田市スポーツ推進計画19―28に位置づけ取り組んでいく予定です。

木島 副市長

地域住民を初め関係者が連携して進めることが重要です。今後関係主体と一致団結して進めます。
資源ごみ処理施設稼働目標年度見直しに伴う忠生地域・バリエータッププラン実現への影響はなくされたい。

高橋 副市長

これ以上の延伸がないよう、精力的に施設整備、周辺のまちづくりを含めて進めていきたい。



地域の発達を子どもで



齊藤 かつひろ(公明党)

子ども発達センターの現在の課題は何か。
子ども生活部長 今年度から実施しています障がい福祉サービスの受け付け等の業務に関し、想定していたよりも時間がかかっていることです。

木島 副市長

これまで市が対応したケースにおいては、全件無事に保護されています。引き続き、市内の福祉施設や特別支援学校、関係機関等と連携し、地域における障がい者の外出を見守っていきます。

子ども生活部長

不安感を軽減するため、18年度から入



まちともの慢性渋滞の解消



森本 せいや(まちだ市民クラブ)

大蔵町・鶴川・真光寺の「鶴川4丁目」交差点の慢性渋滞は、近隣住宅街への車両流入を呼び危険だ。解消を。道路部長 15年度から10年間で計画で、既に現況測量は完了し、道路の概略検討を始めた聞いています。都になるべく早くやるよう、要望を強くしたいと思っています。

子ども生活部長

町田市公共施設再編計画が策定され、その方向性を勘案して検討を開始したいと考えています。

子ども生活部長

町田市公共施設再編計画が策定され、その方向性を勘案して検討を開始したいと考えています。



飛ばない空を



殿村 健一(日本共産党)

CV22オスプレイの横田基地配備と飛行訓練に反対し、離着陸情報をHPに掲載すべきだが、どうか。
政策経営部長 国から提供される情報の中身等を見ながら検討し、考えていきます。

政策経営部長

国から提供される情報の中身等を見ながら検討し、考えていきます。

政策経営部長

国から提供される情報の中身等を見ながら検討し、考えていきます。

政策経営部長



オリパラ等進捗状況・災害態勢



星 だいすけ(自由民主党)

オリンピック公式競技自転車ロードレースの市内走行が決まったが影響は。また、キャンプ地招致の進捗は。
木島 副市長 大規模な交通規制になり、住民生活へのさまざまな影響が予想されます。

木島 副市長

大規模な交通規制になり、住民生活へのさまざまな影響が予想されます。

木島 副市長

大規模な交通規制になり、住民生活へのさまざまな影響が予想されます。



びすーびー市に遊ぶスノーピーク



おさむら敏明(自由民主党)

スノーピークミュージアムが来秋、南町田に開館される。町田市のキャラクターとしてシティプロモーションに積極的に活用してはどうか。
市長 えいごのまちだ事業との連携などを通じ、市内の子どもたちからのスノーピークの愛着や親しみを高め、市全体のプロモーションとして、継続しどのように活用しているか、今後、ソニー・クリ

市長

えいごのまちだ事業との連携などを通じ、市内の子どもたちからのスノーピークの愛着や親しみを高め、市全体のプロモーションとして、継続しどのように活用しているか、今後、ソニー・クリ

市長

えいごのまちだ事業との連携などを通じ、市内の子どもたちからのスノーピークの愛着や親しみを高め、市全体のプロモーションとして、継続しどのように活用しているか、今後、ソニー・クリ



都計道ヶ南大谷



木目 田英男(自由民主党)

伝わる日本語推進運動について、今後の取り組みは。市長 モデル職場や見直しの対象となる文書などを選定し、取り組みの成果を報告会で周知することで市役所全体のムーブメントとしていきたいと考えております。

市長

モデル職場や見直しの対象となる文書などを選定し、取り組みの成果を報告会で周知することで市役所全体のムーブメントとしていきたいと考えております。

市長

モデル職場や見直しの対象となる文書などを選定し、取り組みの成果を報告会で周知することで市役所全体のムーブメントとしていきたいと考えております。

市長



南大谷小田急線高架下のアンダーパス



子育てしやすい町田を目指し



熊沢 あやり(自由民主党)

子育て世帯4分の1が就学児医療費助成の対象外。所得制限の撤廃はできないか。
子ども生活部長 医療費助成の拡充については、子育て支援を進める上で課題の1つと認識していますが、市が単独で拡充することは難しい状況であると考えています。

子ども生活部長

医療費助成の拡充については、子育て支援を進める上で課題の1つと認識していますが、市が単独で拡充することは難しい状況であると考えています。

子ども生活部長

医療費助成の拡充については、子育て支援を進める上で課題の1つと認識していますが、市が単独で拡充することは難しい状況であると考えています。



健康寿命の延伸



村まつ俊孝(公明党)

不妊症、不育症について、治療を受けやすくするために、精神・経済面において支援拡充を求める。
保健所長 本人の精神的な負担に加え、経済的な負担があることは認識しています。

保健所長

本人の精神的な負担に加え、経済的な負担があることは認識しています。

保健所長

本人の精神的な負担に加え、経済的な負担があることは認識しています。

保健所長



大和市との図書館相互利用



細野 龍子(日本共産党)

生活保護利用者の熱中症対策のため夏季加算の支給を行うべきだが、どうか。
地域福祉部長 夏季加算は、以前より都内自治体で統一して都を通し国に対し新設を求めています。今後も国の動きを注視し、受給者の皆様に必要な情報を提供していきたい。

地域福祉部長

夏季加算は、以前より都内自治体で統一して都を通し国に対し新設を求めています。今後も国の動きを注視し、受給者の皆様に必要な情報を提供していきたい。

地域福祉部長

夏季加算は、以前より都内自治体で統一して都を通し国に対し新設を求めています。今後も国の動きを注視し、受給者の皆様に必要な情報を提供していきたい。